



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療
患者の人権と意思を尊重します

診療3本柱
がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療
地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア
地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献
災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成
地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

水害から1年が経過して

人吉医療センター前



2020.7



2021.7

青井阿蘇神社前



2020.7



2021.7

現在の球磨村



令和2年7月豪雨災害から1年が経過しました。水害で被災された方々にお見舞い申し上げるとともににお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りします。また水害に際し多くの皆様からお見舞い、ご協力、ご支援を賜り当院も医療を継続することができましたことを心から感謝申し上げます。改めて災害時の応援・支援、特に共助の大切さを認識する機会になりました。被災した人吉の街は建物の解体が始まり復興計画が進んでいるところですが街が以前の賑わいを取り戻すのはまだまだ先になりそうです。地域の医療機関においては閉院されたところもある中で新たな気持ちでリフォーム後再開、さらに建て替え計画も進んでいるようです。当院でもこれまでの地震を想定した災害対策とは別に水害に対する備えを職員一同一丸となって進めているところです。地球温暖化、気候変動、環境破壊による大

規模水害はほぼ毎年のように各地で起こり、今年も伊豆や中国地方で線状降水帯による洪水、土石流が発生し大きな被害が出ています。われわれも梅雨や台風による水害が発生しないことを願うだけでなく、この球磨川に沿った豊かな氾濫原である当地域で少しでも安心して暮らせるように通常医療、災害医療に力を入れていく所存です。

最後に COVID-19 の第5波も心配される状況ですが、ワクチン接種が進み一刻も早く感染が終息し以前の状態に戻り、人吉の復興が進み皆様にお出でいただきおもてなしできることを願っている次第です。今後ともよろしくお願いいたします。

JCHO 人吉医療センター
院長 木村 正美

ECMO (Extracorporeal Membrane Oxygenation) を導入

* ECMO(体外式膜型人工肺)は、体外循環を用いて血液の酸素化と二酸化炭素除去を行い、これを動脈あるいは静脈に返血して、生体の酸素化を維持する補助循環システムです。

ECMO は、①重症呼吸不全の肺機能をサポートする、脱血を静脈(V)→送血を静脈(V)とする V-V ECMO と、②重症心不全の心機能と肺機能の両方をサポートする、脱血を静脈(V)→送血を動脈(A)とする V-A ECMO、また③心肺蘇生の PCPS(Percutaneous Cardio Pulmonary Support)に分類されています。PCPSは V-A ECMO とほぼ同義。これに対し① respiratoryECMO ② CardiacECMO ③ ECPR(Extracorporealcardiopulmonary resuscitation)とも言われています。

導入にあたり済生会熊本病院で4000例以上の心臓血管外科手術時の人工心肺装置操作のご経験がある荒木 康幸臨床工学技師長をお招きしECMOの導入と管理ポイントについて、質の高い講義を行っていただきました。医師、看護師、臨床工学技士、そのほか多くのメディカルスタッフの参加があり関心の高さがうかがえました。さらに心臓血管外科専門である下川副院長はじめ、総合診療科、循環器科の医師による模擬体へのカニューレションから臨床工学技士による回路へのプライミング、装置への接続、循環開始と一連の流れのシミュレーションや院内搬送のシミュレーションも行い準備を整えています。

ECMOの導入で、この球磨・人吉でCOVID-19の重症呼吸不全から重症心不全など今までは対応困難とされていた症例に対し、高度医療が提供できるようになります。

臨床工学部 上村 慎作



新型コロナワクチンとHPVワクチン

時代や世情が変わっても、日の出とともにワシワシと力いっぱい鳴く蟬の声は今も変わらず、ラジオ体操に小走りで向かった子どもの頃の早朝の風景が目に浮かんできます。

新型コロナワクチンの接種が2月に始まり、多くの国民にとって最大の関心事となっています。そんな中、子宮頸がんなどの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を予防する新しい9価ワクチンが発売されました。HPVワクチンは、日本でも2009年に導入され、2013年4月からは定期接種となりましたが、副反応の報告を受けて、その2か月後に積極的な勧奨が一時的に差し控えられ、いまだにこの状態が続いています。従来のHPVワクチンは特にがん発生のリスクが高い16、18型の2種のウイルスの感染予防が可能でしたが、新しいワクチンにはさらに31、33、45、52、58を含む9つの型にも有効で、既に80以上の国と地域で承認されています。残念ながら日本では新しいワクチンはまだ定期接種には含まれておらず、自費での接種になります。子宮頸がんの予防にはワクチン接種と検診が大切で、この9価ワクチンの接種率が80%以上で女性が生涯に子宮頸がん検診を2回受ける率が70%以上である国では、2060年までに子宮頸がんをなくすことができると予測されています。しかし、現在の日本では毎年約1万人の女性が子宮頸がん(上皮内がんを除く)に罹り、約3千人が亡くなっています。HPVワクチン接種を受けなかった

2000～2003年度生まれの女性では、子宮頸がんにかかる人が約1万7千人、死亡は約4千人増加するという衝撃的な科学的予測が大阪大学から発表されました。この中には、妊娠・出産を望むこれからの20代・30代の女性も多く含まれているはずです。

がん検診についてはどうでしょうか?日本婦人科腫瘍学会による調査では、昨年の5月には子宮がん検診の受診が前年同月に比較して最低の44.2%にまで落ち込んでおり、また、婦人科のがんの手術件数は昨年の3月から12月までの期間で、前年同期間に比べて3.9%減少しているという実態が明らかとなっています。HPVワクチンの積極的勧奨の中止が長びくことによる「ワクチン控え」に、新型コロナウイルス感染拡大による「検診控え」が追い打ちをかけ、子宮を残せるはずだった、あるいは命を落とさずにすむはずだった若い世代の子宮頸がんの予防や治療の機会を奪い、新しい命の誕生を妨げることになりはしないかと危惧するばかりです。

2008年に始めた高校生を対象とした「命の大切さ」を伝える授業を今年は人吉南陵高校(7月26日)で担当させていただきます。正しい情報を正しい言葉で、これからの日本を背負って行く十代の若者達に伝え続けて行きます。

産婦人科 片淵 秀隆

人吉医療センターの緩和ケアについて

緩和ケアとは

緩和ケアとは、患者さんやそれを支えるご家族ひとり一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケアの事です。

緩和ケアは、がんの治療ができなくなってから始めるものではありません。身体や心などのつらさが大きいと体力を消耗することにより、がんの治療を続けることが難しくなります。そのため、がんと診断されたときから『つらさをやわらげる＝緩和ケア』を始めることが大切です。

また、早い段階から緩和ケアを受けた場合、生活の質（QOL）が改善され、予後にも良い影響があるという調査報告もあります。人吉医療センターでは、緩和ケア外来、緩和ケア病棟、緩和ケアチームを設置しています。

「緩和ケア外来」について・・・

緩和ケア外来では、通院で緩和ケアを受ける事ができます。薬物療法や放射線治療など通院治療中に外来で緩和ケアを受けることもできます。一般外来でも診療と同時並行で苦痛症状に対するの症状緩和ケアを行っています。他院からの紹介の方は毎週木曜日の午後から完全予約制で緩和ケア外来を設けています。受診希望の方お問い合わせください。

「緩和ケア病棟」について・・・

悪性腫瘍の病名のある方に対して、身体や心のつらさ・苦痛をできる限りやわらげる治療やケアを専門的に提供する病棟です。事前にご家族またはご本人と緩和面談を行い、病状の理解や今後のご意向を確認しています。緩和ケア後は、在宅生活への円滑な移行を支援する役割も担っています。症状コントロール後は退院支援を行います。

「緩和ケアチーム」について・・・

人吉医療センター緩和ケアチームは、医師、看護師（緩和ケア認定看護師含む）、薬剤師、管理栄養士、公認心理士、リハビリ専門職、医療ソーシャルワーカーなどで構成されています。緩和ケアチームで作成した“生活のしやすさに関する質問票”を各科で活用し様々なつらさの有無を確認致します。希望時は専門スタッフが対応し、また、チーム内で情報共有を行い更なる苦痛緩和を目指しています。

お問い合わせ先：

人吉医療センターがん相談支援センター

0966-22-2191（内線 240）

☀️雨が明け、気温の上昇とともに、熱中症予防対策が必要な季節になりました☀️

当院の救急外来にも毎年熱中症の患者さんの救急搬送や受診があります。

熱中症は、知識と生活上の工夫で予防することが可能です。

近年は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためにマスクを着用することが多くなりましたが、マスクの着用は心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。

厚生労働省によると、熱中症による死亡者の8割が高齢者で、高齢者の熱中症は半数以上自宅で発生しているとされており、1日当たり1.2ℓを目安に1時間ごと、入浴前後、起床後の水分補給が推奨されています。（疾患があり、水分制限などある場合には主治医の先生の指示を仰いでください。）

熱中症予防×コロナ感染防止の方法や、注意を喚起するポスターや若者に人気のTikTokの動画での啓発活動などが掲載されていますので、ぜひ厚生労働省のホームページをのぞいてみてください。



（TikTok 動画 / 謎のキャラクター）



厚生労働省

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_coronanettyuu.html

家庭での食中毒予防

梅雨時期や夏は湿度や気温が高く、細菌が増えやすいので食中毒の発生件数が増加します。食中毒というと、飲食店などでの食事が原因と思われがちですが毎日食べている家庭の食事でも発生します。家庭での発生では症状が軽かったり、発症人数が少ないことから風邪や寝冷えと思われ食中毒とは気づかれず、重症化することもあるため食事作りの際は以下のことに注意しましょう！

- ①食品の購入：消費期限をチェック。肉・魚はそれぞれ包み、保冷剤と一緒に。寄り道せずまっすぐ帰る。
- ②家庭での保存：帰ったらすぐ食品は冷蔵庫へ。肉・魚は汁がもれないよう包んで保存。冷蔵庫の中身は7割程度とし、10℃以下に維持。冷凍庫は-15℃以下に維持。
- ③下準備：包丁は肉・魚を切ったあとは洗って熱湯をかける。肉・魚は生で食べるものから離しておく。冷凍食品の解凍は冷蔵庫で。
- ④調理：加熱は十分に（めやすは中心部分の温度が75℃で1分以上）。電子レンジを使うときは均一に加熱。調理を途中でやめたら食品は冷蔵庫へ。
- ⑤食事：食事の前は手洗いを。長時間室温に放置しない。
- ⑥残った食品：早く冷えるよう小分けにする。温めなおすときは十分に加熱する（めやすは中心部分の温度が75℃で1分以上）。時間が経ちすぎていたりちょっとでも怪しいと思ったら思い切って捨てる。

栄養管理室 管理栄養士 北岡 志織

職員対象メンタルヘルス

7月9日、今年度入職した新人看護師を対象に、メンタルヘルス研修を行いました。

入職後3ヶ月のこの時期には、学生から社会人として役割の変化が求められたり、世代の異なる先輩や同僚と時間を共にしなければならなかったり、配属された部署でどのように自分を位置づけていくかなど、様々なストレスを生じさせる出来事や課題があると言われています。また、人命に関わる仕事内容からも看護技術の向上が期待されたり、急性期総合病院としてのスピード感や専門性を体感したりするなど、看護師が故に生じる戸惑いや不安も少なくありません。

メンタルヘルスとは「心の健康」を指しますが、それを保つためには、「心の健康を自分で管理する」という考え方の「セルフケア」がとても大切です。まずは、自分の心の状態を「知る、気づく、対処する」ことから始まります。

本研修では、自分の心の状態を知り気づくために、疲労感のチェックを取り入れました。「ストレスは自分では分からない部分があるので、定期的にチェックするのは効果的だなと感じた」と、心身の状態を知る一つの手がかりとして活用いただけたようです。また、困っていることや心配なことを同期と共有する体験を通して、「他の人の悩みを聞いて自分だけではないことが分かって気が楽になりました」、「みんなの思いを聞いて一緒に頑張っていこうと思った」と、看護師として歩み始めた彼らを、今後も継続して応援していきたいと感じさせる研修となりました。本研修が看護師人生の一助となることを願っています。

産業医の渡邊先生から、セルフケアについてレクチャーいただきましたので、一部ご紹介いたします。皆さんも、セルフケアを取り入れてみてはいかがでしょうか。

- ・皮膚感覚の刺激（お風呂やマッサージなど）
- ・リズムをとる（リズムには、気持ちを落ちつかせる効果があります）
- ・大きな声を出す（大きな声を出すことは、恐怖心を振り払い勇気がわいてくる効果があります）
- ・感情を表出する（笑ったり、映画などに触れ涙を流したりする。意識的に時間を持つことが大切です）
- ・嗅覚を刺激する（アロマテラピー、好きな香りを嗅ぐ）
- ・呼吸を整える（呼吸を整えると、緊張を和らげる効果があります）
- ・自信をつける（昨日の私よりも今日の私、今日の私よりも明日の私）

心理療法士 鶴田 真奈美

COVID19のワクチン接種後のCTやPET/CTなどの検査に関するお知らせ

基本的にCOVID19のワクチン接種後の各画像診断検査に関する通達などはありません。

しかし、接種後の反応性のリンパ節腫大があることから、検査で癌のリンパ節転移とまざらわしい可能性があります。

日本癌治療学会、日本癌学会、日本臨床腫瘍学会のホームページでも、その点から、ワクチン接種後4～6週間ほど間隔をあげ、検査を行うことも考慮してほしいとの記載がありました。検査予約される際には参考にしていただければと思います。

また、検査直近でワクチン接種をしている際は、依頼内容にワクチン接種の日付も記載して頂けると助かります。よろしくお願いします。

人吉医療センター 画像診断センター

病院機能評価受審について

当院は、6月21日（月）・22日（火）の2日間、5回目となる病院機能評価訪問審査を受審いたしました。本来であれば昨年の8月に受審の予定でしたが、熊本豪雨のため今年の2月に延期、更に2月にはコロナ感染対応のため2度目の延期となっておりました。

病院機能評価とは、日本病院機能評価機構が病院組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的、科学的・専門的な見地から「書面審査」と「訪問審査」で評価を行うことです。病院はその評価結果をもとに質改善活動を行い、病院運営や患者サービスの向上を目指します。

訪問審査は、木村院長の病院概要説明で始まり、その後サバーヤーの先生方による書類確認と各部署責任者との面接調査、現場確認のための部署訪問審査が行われ、ケアプロセス調査では各病棟より症例のプレゼンテーションを行いその後質疑応答が行われました。

当院が受審準備を始めたのは2年前、その間、自己評価を行いながら改善すべき点は改善し、医療質の確保・向上に向けて病院全体で取り組んで参りました。

今回の審査結果については、先ず概ね6～8週間後に『中間的な結果報告』が通知され、その後概ね2か月後に最終的な『審査結果』通知が来る予定です。

総務企画課 廣田 由美

7月は愛の血液助け合い運動月間です

コロナ禍の影響で献血者が減少し、輸血用血液の安定供給がこのままでは危機的状況にあるというニュースを見聞きすることがあります。

外出の機会を極力少なくし、人との接触をできるだけ避ける生活を多くの方が心掛けておられるかと思いますが、輸血用の血液を確保することは、医療を安定供給するためには必須であり、献血に出向くことは不要不急の外出にはあたらないとされています。

献血の場面においても、会場の混雑を防ぐための取り組みがなされており、献血協力者は、Wedで簡単に予約をすることができます。近くに献血ルームがない方は、献血バスが巡回しており、献血バスの運行スケジュールは、インターネットで簡単に調べることが可能です。

また、一部の会場では献血バスの予約も可能です。詳しくは、熊本県赤十字血液センター 献血バス運行スケジュール www.bs.jrc.or.jp のサイトをご確認ください。

新型コロナウイルスワクチンを含む一定期間内に予防接種を受けた方も要件を満たせば、献血が可能ですので、こちらについても熊本県赤十字血液センターのサイト www.jrc.or.jp を覗いていただくと詳しく説明されています。

新型コロナウイルス治療に対応する医療従事者への心遣いや、優しい言葉かけ、誠にありがとうございます。医療を守ることは、皆さんの命を守ることに繋がります。当院玄関前での献血は9月15日（水）に計画されています。ご協力をお願いいたします。

特別臨床実習感想 - 産婦人科

今回、産婦人科におけるクリニカルクラークシップの学外実習として、人吉医療センターの産婦人科にて、2週間実習をさせていただきました。人吉は自分の地元であるため、今回、産婦人科で実習をすることができとてもうれしかったです。実は、人吉医療センターには以前も実習をさせていただき、前回とは違う形で学ぶことができました。前回は総合診療科で実習をさせていただき、総合診療科の先生方や研修医の先生方には大変お世話になりました。

人吉医療センターでの実習では、多数の外来診察、手術、お産に立ち会うことができとても貴重な体験でした。実習中に大学では体験できないような症例の見学をすることができた

り、いろいろな手技を体験することができ大変勉強になりました。特に、妊婦健診やお産などは大学ではなかなかみることができないので、貴重な体験で勉強になりました。また、超音波や内診などを体験させていただいたり、手術やお産をまじかで見学させていただいたりとても勉強になりました。人吉医療センターの産婦人科ではどのような特色があるかなども教えていただき、人吉医療センターがこういった役割を担っているかなど考えさせられました。

産婦人科の先生方や、研修医の先生方、多くの医療スタッフの方々には大変お世話になりました。大変親切にいただき、非常に充実した楽しい2週間となりました。今回の実習でお世話になった方々に、心より感謝申し上げます。

熊本大学医学部医学科 6年 白奥 光一

熊本県災害支援ナース研修の講師として参加しました

7月28日、109名の受講生にWeb研修の講師として参加しました。熊本県看護協会 本 尚美会長の熊本県看護協会の災害支援の経緯に始まり、人吉市役所福祉部保健センターの久保田 美恵子保健師から避難所での災害支援ナースとの連携について講演がありました。

昨年起こった災害では、COVID-19感染により「派遣レベル2（被災県看護協会及び近隣県看護協会が災害支援Nsを派遣）」に変更できず「レベル1（被災県看護協会が災害支援Nsを派遣）」での継続となりましたが、災害支援看護師だけでは対応できず、登録者以外にも募集し236名の災害支援看護師から75名派遣し、他22名の看護師（延べ282名）が5か所の避難所支援にあたりました。まだまだ災害支援看護師の不足を感じました。

私は受援病院の立場から発表しました。人吉球磨地域の救急告示病院や産婦人科病院など多くの医療関係施設が被災したことで需要と供給のバランスが崩れ、外来、救急外来受診増加、入院患者増加、出産の増加などが著名でした。また、当院の看護職員も30名近く被災し、早期回復には受援要請が必要でした。新型コロナ発生後、初めての災害でもあり、災害支援看護師が病院での活動を行った全国初の事例でした。あれから1年が経ちましたが、まだまだ復興半ばです。病院の災害対策もより強固なものとなるよう取り組んでいます。管理職者として有事に対応できる災害支援看護師を育て、災害に強い病院になるよう努めていきたいと感じました。

看護部長 渡辺 朋子

連携施設 探訪

当院では、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。今回は、「グループホーム 桜の里（868-0701 熊本県球磨郡水上村岩野 2658）」さんです。

グループホーム 桜の里 Vol.41

【施設の特徴】

住み慣れた地域で家族のような生活環境を提供します。1ユニット9名定員の全室個室の静かな環境でご利用の方が職員と一緒に掃除をしたり、食事の準備をしたりして、その人その人が培ってこられた日常生活を他のご利用者や職員と一緒に共同で行うことにより、ご本人の持つ認知能力の低下を最大限に抑えます。

また、地域に密着したサービスとして、ご本人様が過ごされてきた環境の中で過ごされることで在宅生活と継続性のあるケアを実践しています。

【対象者】

水上村、湯前町、多良木町、あさぎり町にお住まいで要支援2～要介護5までの認知症の方が入居できます。胃瘻の方など場合によっては対応できないことがありますのでまずはご連絡下さい。

【サービスの内容】

認知症対応型共同生活介護



【地域の皆様に一言】

認知症になったからといって何も分からない訳ではありません。それぞれの方が自分のできる事をしながら毎日元気に過ごされています。コロナが落ち着いたらいつでも遊びに来て下さい。お待ちしております。

【お問い合わせ】

グループホーム 桜の里:0966-44-0771

管理者:園田睦明

※当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活をしていただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して、地域包括ケアを推進していきたいと考えています。

院内設備紹介：患者図書室「もちの樹」

本館棟2階の患者図書室「もちの樹」をご存じですか。

平成17年から旧人吉総合病院にて患者さま用図書室を開室しました。そして平成25年5月に人吉医療センターの開院に合わせ患者図書室「もちの樹」に名前を変更致しました。もちの樹は、NPO法人「医療の室に関する研究会」を通じて患者向け医学図書及び標準的医学書、室内装飾（家具全般）を寄附していただきさらなる充実を図りました。

病気に関する情報誌から栄養・健康など様々なカテゴリーに分類され大変見やすくなっています。平日8:30～16:00で図書の貸し出しも行っておりますので是非ご利用ください。

また、もちの樹の一角にラックを設置し、疾患に関するパンフレットの配布を行っています。外来受診時の待機スペースとしてご利用いただくことも可能です。

さらに当院は、がん診療連携拠点病院としてがん相談支援センターを設置しております。がんに関する治療、医療費などの経済的なこと、ご自宅で療養をされる時に利用できる制度、お仕事のことなどご相談ください。ご本人だけでなくご家族なども無料でご相談が可能です。ご活用ください。



人吉医療センター医療福祉連携室
お問い合わせ先：0966-22-2191（内線240）

令和2年7月豪雨で被災された方は病院等の窓口負担なしで受診できます (令和3年6月改訂)

○災害救助法の適用市町村にお住まいで、下記の対象保険者に加入されており、次の①～⑤のいずれかに該当する方は、医療機関、介護サービス事業所等の窓口で保険証と免除証明書を提示することで、医療保険の窓口負担や介護保険の利用料について支払いが不要となります。(令和3年12月末まで)

- ① 住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災をされた方
- ② 主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負われた方
- ③ 主たる生計維持者の行方が不明である方
- ④ 主たる生計維持者が業務を廃止、又は休止された方
- ⑤ 主たる生計維持者が失職し、現在収入がない方

＜対象保険者＞

- ・国民健康保険/介護保険（八代市、人吉市、水俣市、上天草市、天草市、芦北町、津奈木町、錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町、荒尾市、玉名市、山鹿市、菊池市、玉東町、南関町、長洲町、和水町、南小国町、小国町）
- ・熊本県医師国保組合
- ・熊本県歯科医師国保組合
- ・熊本県後期高齢者医療広域連合

* 県外の医療機関等でも同じように受診できます。

* 入院・入所時の食費・居住費などはお支払いいただく必要があります。

* 全国健康保険協会（協会けんぽ）を含め、上記以外の保険者の取り扱い、各保険者にお問い合わせください。

○免除証明書、その他取扱いにご不明な点があれば、ご加入の各保険者にお問い合わせください。

令和2年7月豪雨 令和3年6月改訂

**被災された方は
病院等の窓口負担なしで受診できます**

○災害救助法の適用市町村にお住まいで、下記の対象保険者に加入されており、次の①～⑤のいずれかに該当する方は、医療機関・介護サービス事業所等の窓口で**保険証と免除証明書を提示**することで、**医療保険の窓口負担や介護保険の利用料について支払いが不要**となります。
(令和3年12月末まで)

- ① 住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災をされた方
- ② 主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負われた方
- ③ 主たる生計維持者の行方が不明である方
- ④ 主たる生計維持者が業務を廃止、又は休止された方
- ⑤ 主たる生計維持者が失職し、現在収入がない方

対象保険者

国民健康保険・介護保険(八代市、人吉市、水俣市、上天草市、天草市、芦北町、津奈木町、錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町、荒尾市、玉名市、山鹿市、菊池市、玉東町、南関町、長洲町、和水町、南小国町、小国町)
熊本県医師国保組合、熊本県歯科医師国保組合、熊本県後期高齢者医療広域連合

・ 県外の医療機関等でも同じように受診できます。
・ 入院・入所時の食費・居住費などはお支払いいただく必要があります。
・ 全国健康保険協会(協会けんぽ)を含め、上記以外の保険者の取り扱い、各保険者にお問い合わせください。

○ 免除証明書、その他取扱いにご不明な点があれば、ご加入の各保険者にお問い合わせください。

新 任 紹 介



やまおか てるこ
山本 照子（療養介助員）
趣味：音楽鑑賞、演芸、映画、旅行
モットー：自然体
自分の性格：時折マイペース

長所：体力
短所：物忘れ

自分のコミュニケーション：仕事・作業は“早い”といつも言われます。



おかざき ゆみこ
岡崎 由美子（医事課・医師事務作業補助員）
趣味：旅行、映画鑑賞
生活信条：日々感謝
自分のコミュニケーション：笑顔を心がけて頑張っています

ので、よろしくお願い致します